

ときめき きらめき いきいきを伝える

広報



関市イメージキャラクター
「関＊はもみん」

seki

2018

4

No.1686

特集
やってみよう
市民活動

TOPICS

- ・ 関まつり…P6
- ・ 「マチマチ」はじめます!…P9
- ・ お知らせ…P26~33
- ・ しあわせヘルスだより…P34~36
- ・ 文化会館／図書館…P37

市の課題を解決するために
市民の活動をサポートする施設です。活動の相談や、コピーや
物品の貸出などによる実務の支援を行います。

市民活動センターって どんなところ？

市民公益活動のことです。地域のためになる事について、営
利目的ではなく、市民の人たちが
自主的に活動する事です。例
えば趣味の団体であっても、福祉
施設へ慰問に行くという活動に
つながれば公益的な活動と言
えます。

市民活動って何？



やってみよう 市民活動

市民の力がまちづくりの
大きな支えとなっています。
あなたもはじめて
みませんか？



北村隆幸さん

「関市市民活動センター」事務局長。
ふるさと関市でまちづくりNPOを立ち上げ
市民参加型フリーマガジン「ぶうめらん」を創刊。
関市のまちづくりの駆け込み寺として行政、
まちづくり団体、商店街、自治会などと協働事業を実施。

case1/ 孫六座 Magorokuza

「生涯現役」目指して がんばっています！

関の民話を紙芝居にしたいと思った事がきっかけで
孫六座は始まりました。オリジナル作品も含め
14演目が出来上がり、今では高齢者サロンを中心に
年間50〜60公演行っています。新作も続々と作成しています。
私たちが楽しんで活動している事が
地域貢献になっているのならうれしいですね。

孫六座 座長
原 康博さん



弁慶庵での公演

2014

中央第1包括支援センターで
2カ月に1回定期公演を開始。

2013

「紙芝居による地域の
福祉教育に貢献する事業」で
きらめき助成金をもらう。

2012

仲間が増える。
脚本、朗読などそれぞれ
得意分野があり、みんな大活躍。

2011

原さんとともに孫六座を立ち上げ、
「関の善光寺」の紙芝居を
二人で始めた。

2010

桜井さんが市民活動センターへ
「紙芝居をやりたい!」と相談。
市民活動センター
プチイベントで紙芝居を初体験!



公演前の準備体操。旗、はっぴ、音響機具は
市民活動助成金を活用して購入。

2016

善光寺の大日冠如来像とラグビーの
五郎丸選手の手が同じであると
桜井さんが発見し、大ブームに。

2017

新作の製作にあたり、
視察研修をする。足を運び、
自分の目で確かめる事の
大切さを実感。

2018

新作続々登場予定!
乞うご期待!!



孫六座の
皆さん



関には語り継ぐべき歴史があります。
関の民話や歴史を紙芝居を通して
伝えていきたいです。

孫六座 支配人
桜井 興平さん

Start!

市民活動にどんなサポートがありますか？

資金については、市の『市民活動助成金』があります。

また、皆さんの想いを形にする支援として、まちづくり市民会議やソーシャルビジネスプレゼン大会などの場があります。

何かしたいけれど何をして良いかわからないという方には、ご興味に合いそうな団体を紹介することもできます。

市民活動を始めるのは難しいですか？

『市民活動』という言葉が少しずつ浸透し、市民活動センターにおいて、今では約200の団体が登録されています。

どの団体も、初めから明確な目的や目指す姿があったわけではありません。ただ、市民活動センターへ相談に来てくださったことがきっかけで活動の一步が始まる事があります。

一步を踏み出して現在活躍する団体のストーリーをご紹介します。

case2 / 子援隊 Shientai

「すべての子どもが未来に夢と希望をもてる」ように…

まちづくり市民会議で「生活の困窮する家庭の子どもの学力向上」という課題に取り組みました。様々な事を調べ取り組むうちに、「子どもの学習支援」のニーズがかなり高いことが分かり、なんとかしなければと思いました。この想いに賛同してくれた仲間たちが一緒に活動してくれたから今があります。利用者の皆さんが喜んでくれるからやりがいがあります。

NPO法人子援隊 理事長
佐藤 隆一さん



てらこや文殊堂で学習。



「夏休み宿題お助け教室」

2015
10月

まちづくり市民会議において
チーム子援隊発足。

2016
6月

子どもの貧困と学習支援に関する講演会を実施。
賛同した人からボランティアの申し出や寄付が集まる。

2016
7月

「夏休み宿題お助け教室」初開催。
大成功に終わる。申込人数の多さからも
感心の高さがうかがわれる。

2016
9月

まちづくり市民会議は終了したが、
継続的な支援を目指して世話人会を発足させる。

2016
11月

組織、場所、対象者など
細かい事について世話人会で奔走する。

2017
6月

NPO法人「子援隊」を設立。

2017
7月

2回目の「夏休み宿題お助け教室」で
ときめき市民活動助成金をもらう。

2017
8月

「無償学習支援教室
てらこや文殊堂」スタート!!

2017
11月

花と緑の坂井(株)と
連携し、
保護者に花を贈る
ワークショップ開催。



「夏休み宿題お助け教室」では
百年公園で屋外体験教室を
開催しました。



NPO法人ヘルシーライフせき
理事長 **土屋 ひろ子**さん



子援隊の
皆さん

Start!

助産師の継続したサポートにより 子どもを健全に産み 育てられるまちへ



産後4ヵ月までは母親が特に不安や孤独を感じやすい時期です。そして、産後の安静が必要なこの時期に、通所ではなく訪問での助産師による授乳・育児指導、骨盤ケアなどの母子のトータルケアが大切であるとの想いから活動を始めました。今後は、産前のクラスや母同士が集う場を作り、つながっていききたいです。

助産師の産前産後ケアつなぐ

田嶋 恵子 さん



訪問先で赤ちゃんの体重測定



「助産師のいる日」1年間でつながったママたち



利用者

櫻井 加世子 さん 梨乃 ちゃん

産後、家から出られない時期に訪問してもらえ、赤ちゃんの体重測定や気になることを聞く事ができ、安心しました。産後ヨガの情報などを教えてもらい、外へ出てみようという気持ちになりました!



「助産師の産前産後ケアつなぐ」の皆さん

Start!
2015
2014

2016

産前・産後の継続したケアが必要との思いから、事業を開始。

岐阜県助産師会中濃地区のメンバーとして、「めざせ!HAPPYお産 HAPPY子育て」の活動を開始する。ときめき市民活動助成金をもらう。

2017
1月

ソーシャルビジネスプレゼン大会で産前・産後のケアについて発表し、最優秀賞を獲得。
お茶会「助産師のいる日」を月一回開催。

2017
3月

全国から集う「出産ケア政策会議」のメンバーとしてマイ助産師制度の実現に向けて活動。

2017
9月

「助産師の産前産後ケアつなぐ」設立。
「助産師の産後訪問サポート事業」でいきいき市民活動助成金をもらう。

2017
11月

授乳・育児指導、乳房ケア・骨盤ケアなどの産後訪問を開始。

2018
2月

4ヵ月間で29人の利用があり、訪問してもらってよかったとの感想を聞く。活動継続の大切さを再認識。

2018
4月

ママサポート券が使用できる産後のママをサポートする事業が始まる。

continue...

事業紹介

ママサポート事業／出産後の母親に対し、育児の不安や悩みを解消し、安心して子育てができるようにするために、ママサポート券(1,000円×5枚)を交付します! ●対象:平成30年4月1日以降に生まれた赤ちゃんの母親 ●使用期間:出産の翌日から5ヵ月 ●対象事業:医療機関または助産院で受ける母乳・育児相談事業・関市産後ケア事業 詳細は、市民健康課(保健センター TEL 24-0111)にお問い合わせください。

POINT 1 孫六座

アクティブシニアのお手本!!

高齢者がいきいきと自分たちができることを少しずつ出し合いながらやっています。そして、自分たちの活動を心から楽しみ、誇りに思っています。それこそが、生涯現役のアクティブシニアの体現事例です。

POINT 2 子援隊

団体の協働により課題解決!!

子どもに勉強を教えることができる人たち(子援隊)、料理作りが得意な人たち(ヘルシーライフせき)、それぞれの団体が特技を持ち寄り、さらに場所の提供をしてくれたお寺ともタッグを組み、行政も含めた4者で協働し、課題を解決しています。

POINT 3 つなぐ

取組みが仕組みとなった!

市民活動の取組みから地域の課題を明らかにして、市の施策として「ママのサポート事業」の取組みが仕組化されました。一つの市民活動としては小さなものですが、実際に動いた事でニーズが明らかになった事が大切です。

関市市民活動センター



参加する

今ある団体の中から自分の興味、関心がある団体のイベントに参加したり、メンバーとして加わったりします。

立ち上げる

自分の思いを自ら形にして団体として活動します。

支援する

理念に共感できる団体に資金的支援やボランティアとしての支援をします。

みなさんは何から始める？

こんな団体あります。あなたのタイプはどれ？

アクティブシニアを目指したい！

- 関おもちゃ病院(おもちゃの修理)
- 金曜口コトレサークル(介護予防体操)
- 孫六座(紙芝居)
- 関市甲冑製作同好会・美濃国関孫六隊(甲冑製作・演舞)

福祉に関わる活動がしたい！

- 中濃傾聴ボランティア(傾聴)
- 音訳の会「しおん」(音訳)
- 六ツ星会(点訳)
- ひまわりの会(手話)

子どもに関わる活動がしたい！

- 子どもを明日につなぐ会(思春期の子を持つ親の話す場)
- ソレイ遊(託児付きパン教室)
- すくすくフリーマーケット(子ども向けフリーマーケット)
- 子援隊(生活に困難を抱える子ども向け学習支援)
- 子ども食堂(ひとり親家庭の子どもへの食事提供)

まちづくりに関わりたい！

- 地域委員会(住民主体の地域づくり)
- 関市生涯学習 ボランティア・アドバイザーの会(生涯学習に関する企画・立案・講座)
- おもてなし英会話(刃物まつりにおけるガイドボランティア)
- ガールズクローゼット(女性向けクリエイターズマーケット)

何か気になる団体や相談があれば、気軽に市民活動センターへお問い合わせください。(TEL 24-7772)

関市市民活動助成金のご案内

市内で活動する団体が地域の課題の解決や地域の活性化のために行う公益活動に対して助成しています。申請を希望する団体は、市民活動センターまたは市民協働課へご相談ください。

助成金種類	助成対象の内容	助成率	助成上限額	申請受付期間
ときめき	市民活動団体が公益活動をスタートする経費を助成	事業費全額	5万円	随時
きらめき	市民活動団体が提案する公益活動の経費を助成	事業費の3分の2	100万円(10万円以上)	お問い合わせください(春・秋)
いきいき	市の提案事業を、市民活動団体が実施する経費を助成	事業費全額	市の提案額	お問い合わせください(春・秋)

助成金のファーストステップ!

活動が軌道に乗ったらこちらへ!

市とともに課題を解決しましょう!